

平成 28 年度 第 69 回 富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦評

2016 年 6 月 5 日 (日)		会場：富山県西部体育センター					
男子 試合No. 特 4		決 勝 戦					
勝ちチーム 富山工業	7 9	<table border="1"> <tr><td>1 5 — 9</td></tr> <tr><td>1 6 — 1 3</td></tr> <tr><td>2 7 — 1 0</td></tr> <tr><td>2 1 — 2 2</td></tr> </table>	1 5 — 9	1 6 — 1 3	2 7 — 1 0	2 1 — 2 2	5 4 負チーム 高岡第一
1 5 — 9							
1 6 — 1 3							
2 7 — 1 0							
2 1 — 2 2							
戦 評							
<p>春季大会優勝の富山工業と 3 年連続決勝進出の高岡第一との対戦となった。両チームとも勝てば初優勝となる注目のカードである。富山工業は⑫⑬のドライブを中心にゴール下へ切り込み、ファールを誘って得点を重ねる。一方、高岡第一は⑤のハイポストからの攻撃、⑭の 3 P シュートで対抗する。第 1 Q 終了間際、高岡第一がハンドチェックを取られ、富山工業にフリースローを与え、富山工業 6 点リードで終える。第 2 Q、高岡第一は 1-3-1 ゾーンに切り替えて、富山工業のインサイドを抑え、リバウンドからファーストブレイクを試みる。富山工業は 2 年生中心のメンバーとなり、⑩⑪のガードコンビを起点にゲームメイクをする。高岡第一は⑧のゴール下、⑩から⑦へバックドアプレイが決まり、23-22 と 1 点差に詰め寄る。しかし富山工業⑪から⑭へ絶妙なパスが通り、⑭のバスケットカウント、⑩のコーナーからの 3 P シュートが入り、富山工業 9 点リードで前半を終える。後半に入り、高岡第一⑭が 3 連続ゴールを決めれば、富山工業⑬も 3 連続ゴールを決める一進一退の攻防が繰り広げられる。高岡第一は 5 分過ぎから 1-3-1 ゾーンに切り替えて流れを呼び込もうとするが、富山工業⑬⑤のハイロープレイ、⑮⑫のランニングプレイで流れを逆に持っていかれる。高岡第一は思うように攻めきれず、58-32 で第 3 Q が終了する。ラスト 10 分、開始早々に高岡第一のスピードが光る。高岡第一④のバスケットカウントを皮切りに、⑧のスピードあるカットイン、⑤のファールを誘うプレイでリズムを掴みかける。しかし、富山工業⑤から⑬へ好アシストが決まり、バスケットカウントをもらう。再び、富山工業の流れに戻る。富山工業は残り 2 分、コートには 3 年生が中心となって高岡第一の猛反撃を交わす。最後は、富山工業⑥の連続 3 P シュートを決めて初優勝を飾る。</p>							
記録者：奥川 賢一		所 属：富山県高体連専門部					
主 審：玉木 彰治		副 審：竹田 雄介 山本 達也					